



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBÉ PORT

KOBÉ PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988

神戸ポートワイズメンズクラブ

〒850-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11

神戸 YMCA 国際・奉仕センター

Tel 078-241-7204

Fax 078-241-3619

E-Mail: houshi@kobeYMCA.org

http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第2木曜日 6:30-8:30P.M.

第2例会 第4木曜日 7:00-8:30P.M.

第390号

2020年6月

神戸ポートクラブ会長(P)水野雄二「できることを、できる時に、できるだけ楽しく奉仕」 "To serve as possible, as much fun as possible, when possible"

国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア) "Building today for a better tomorrow" 「より良い明日のために今日を築く」  
アジア太平洋地域会長(AP)田中博之(東京多摩みなみ) "Action" 「アクション」 ~With Pride and Pleasure~  
西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー) 「風となれ、ひかりとなれ」 ~こころ豊かであるために、輝くために  
六甲部部長(DG)柏原佳子(芦屋) 「スピナーカーの帆に風を集めて」

### 6月強調月間 評価と引継ぎ

定めたゴールの達成度を評価し、次期へ繋がる形で正確に引継ぎをしよう。

戸所 岩雄 西日本区理事 (彦根シャトークラブ)

#### <6月第1例会>

6月11日に予定されていましたが、中止です。

ただ今月も、参加可能なメンバーの方はZOOMによるネットミーティングを行いますので、ご参加ください。6月例会は「評価と引継ぎの月」ということでしたので、ネット上で皆さんの「評価と引継ぎ」のスピーチを共有できたら嬉しいです。

#### <記>

日時：6月11日(木) 19:00~20:30

場所：それぞれのHOMEにて

\*通信環境整備が難しい方はご連絡ください。

#### <2019-2020年度のファンド・累計>

	5月	累計
ニコニコ	2,500円	15,500円
じゃがいも	0円	448,500円
新玉ねぎファンド	386,899円	386,899円
(じゃがいも、玉ねぎ、柿チップ、カード等)		

#### <5月出席状況>

出席率：68.8%(出席数)11/16(出席率対象会員数)

充足率：45.0%(メン9名)

#### <今後の予定>

<6月第1例会>6/11(木)中止

「評価と引継ぎの月」 メンバースピーチ

<6月第2例会>

6月25日(木) 神戸YMCA308教室(できれば)

<7月第1例会>

7月22日(水) 神戸YMCA308教室

<7月第2例会> なし

<8月第1例会>

8月22日(土) 神戸真生塾納涼大会

<8月第2例会>

8月6日(木) 神戸YMCA308教室

#### <6月のお誕生者>

1日：水野雄二ワイズ 4日：東 善仁メネット

20日：宮内 伸浩ワイズ

**HAPPY BIRTHDAY!**

#### <2020年6月の聖句>

<五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上に留まった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、他の国々の言葉で話した。>使徒言行録2:1-4

教会暦では、5月か6月に「聖霊降臨日：ペンテコステ」があります。イエス様が復活後「聖霊、云うならば神の力を送る」と約束されたという聖書の記事によるものです。昨年は、この箇所を読んで、須磨海岸で行った「揚れ希望の凧」を思い出し、風がそれぞれの願いを、そして、いのちの息を運んで世界を一つにして欲しいと願っていました。ところが、一年経った今、世界はすっかり変わっていました。弟子たちは、今一番やってはいけない三密、「密封」「密集」「密接」じゃないの、そんなことがつい気になってしまったのです。ところがその後、三密の部屋に、どこからか風のようなものが吹いてきて、つまり、密封状態が解け、人々は聖霊に満たされ元気になったと書いてあります。一日も早く、神さまの力である聖霊が風のように吹いてきてウィルスを一掃してくれますようにと祈るしかないです。 丹羽和子

2019-2020年度クラブ役員

【会長】水野雄二【副会長】宮内伸浩、大野勉【書記】山田滋己、宮内伸浩【会計】丹羽和子、小田浩、手塚貴子【監事】鈴木誠也【連絡主事】松田道子

## 会長メッセージ

会長 水野雄二

まもなく梅雨入り宣言が発出されそうな鬱陶しい6月を迎えました。ただ鬱陶しいのは天候だけでなく、この数ヶ月に襲いかかったコロナ禍の鬱陶しさは、まだまだ夏に向かって続いていきそうです。そんな6月はワイズでは年度末。私の会長期も今月で終了です。思えば図らずも2年連続の会長をさせていただき、音楽を楽しむ例会や移動例会を多くのゲストを迎えて実施したり、300名を集めて被災地支援のコンサートを開催したり、大いに楽しみながら奉仕をすることができました。できる時に、できることを、できるだけ楽しく、というモットーでしたが、2年目の終盤はコロナで集えなかったことは残念でした。正式な6月例会も中止ですが、またネットでお目に掛かります。

### 5月第1例会中止

コロナ禍の中、5月例会は中止となりましたが、例会日の5月14日(木)通信アプリのZOOMを使用したネットミーティングを開催し、情報交換をしました。参加者は井内・大野勉・大野智・中山・細見・松田・水野・宮内・山田(敬称略)の9名で、コロナで仕事や日常生活に影響を受ける中で、どのように生活しているかを相互に報告しあいました。このような状況でも仕事で外出せざるをえない方、外出を控えて自宅に籠もっている方、運動不足解消のために走ったり、歩いたりの日課をこなしている方、休校のために学童保育に苦心されている方、それぞれの過ごし方を共有しました。5月28日(木)予定の第2例会もZOOMによるネットでの会合となりましたが、上記9名に加えて丹羽・宮野ワイズの11名が参加し、また皆さんの元気な姿を拝見することができました。早く通常例会を迎えたいですね。(水野雄二)



### メンバー寄稿

#### <新玉ねぎファンド>

淡路島在住の元ワイズ重鎮からのお誘いで始まった「美味しい淡路島の新玉ねぎをファンドに！」の活動は、年々販路を広げて順調に推移しておりましたが、今年は残念ながら新型コロナウイルスの影響を受けてしまい、770箱の販売となりました。そんな中でも、毎年この時期を待っていてくださる方々からのありがたい声をいただき、今年もこの活動が人をつなぎ、それぞれにとって良い「四方よし」となりましたことは嬉しい限りです。

たくさんのクラブが神戸ポートの「新玉ねぎファンド」に参加していただきましたが、あるクラブが

この度の新型コロナウイルスによって厳しい暮らしを強いられているYMCAの留学生に新玉ねぎを差し入れすることを考えていると教えていただきました。その取り組みに賛同し、神戸YMCAでも同様にさせていただきました(10箱)が、いいことがつながっていくような幸せを感じました。

来年も、このような支援ができればいいと思います。

元メンバーの協力もありました。ありがたいことです。

農家さんに感謝！購入してくださる協力者に感謝！他のクラブに感謝！ポートの皆さんに感謝！（大野智恵）



### 5月活動報告

1. 日時:2020年5月14日(木)19:00~20:30  
ZOOM会議にて顔合わせ
2. 新玉ねぎの季節(淡路島洲本市へ)  
水野会長、大野智恵、大野勉



この写真は2年前(淡路にて)



YMCAで学ぶ留学生支援

3. 被災地支援チャリティーコンサートに向けて演奏録音(5月24日)  
ウェブコンサートは、6月初旬を予定。



#### 緊急事態宣言中の在宅サービスの様子

WAPコーポレーションでは、緊急事態宣言を受けて4月13日より在宅サービスに切り替えて支援を続けました。カレッジ・アンコラージュでは、1日2回スタッフから研修生へ電話連絡を行い、体調管理、作業の確認、家での様子を聞きました。

在宅中、研修生には、かご細工やベルマーク、販売に関する作業などの材料を選んで持ち帰って取り組んでもらいました。その他にも、自分の興味のあることを調べてまとめる『テーマ研究』、掃除や洗濯、調理など、生活力を高める『生活力セミナー』、体を動かしたり、音楽や美術を楽しむ時間の『余暇活動』も在宅サービスの内容に取り入れました。

外出自粛の中で、コロナへの不安、先の見えない不安、家から出られないことやアンコラージュに通えないこと、仲間に会えないことの辛さなどそれぞれがいろいろな思いを抱えていました。



それでも家で出来ること、今だから出来ること、自分のやりたいこと・表現したいことなど、一人一人がゆっくりと考えて挑戦する時間にもなりました！

宣言が解除され、6月1日からは時間を短縮し、密にならないよう環境を整えながら再開しています。

在宅サービスという初めての取り組みの中で得たものを今後の支援に続けていきたいです。(宮野愛子)

## 5月第2例会記録(抜粋)

1. 日時:2020年5月28日(木)19:00~20:20

ZOOM 会議にて開催。

参加者:井内、大野勉、大野智、中山、丹羽、松田、宮野、水野、細見、宮内、山田 (11名)



2.内容:

### (1)5月第1例会

コロナウイルス感染拡大防止のために中止。

但し、ZOOMでのネットミーティングを5月14日(木)午後7:00~8:20で開催し、情報交換した。

参加者:井内・大野勉・大野智・中山・細見・松田・水野・宮内・山田 以上9名

### (2)5月度活動報告

・淡路島 新たまねぎ 販売

5/6 現地打ち合わせ 大野勉・大野智・水野

5/15 郡ワイズ宅着 5/16~ 販売

神戸ポート関係 274箱 WAP 30箱 他クラブ

466箱 合計 770箱、留学生支援10箱、交通費、

シール代金、

### <中止(延期)となった活動>

・被災地支援チャリティコンサート 4/25(土)

・4/28・29 きらりと輝くアート展(県民ギャラリー)

・5月第1例会 5/14(木)

「宮沢賢治の魅力」

### (3)6~8月のクラブ例会

会館利用は、当面午後7時まで。

・6月第1例会 6/11(木) ZOOM 会議

19:00 「評価と引継ぎの月:メンバースピーチ  
ドライバー:井内

・6月第2例会 6/25(木) 神戸YMCA208教室

・7月第1例会 7/22(水) 神戸YMCA308教室

・7月第2例会 なし

・8月第1例会 8/22(土) 神戸真生塾納涼大会

・8月第2例会 8/6(木) 神戸YMCA308教室

### (4)今後の予定、他クラブ例会等

・6/13(土) 西日本区大会(大津)

中止となりました。

### (5)協議課題

・6月第1例会(6/11)の開催は不可。

・六甲部新年度活動について

7/4(土) 予定の第1回評議会はZOOM会議。

・次年度準備について(山田次期会長)

・その他

### (6)2020-2021期計画:山田滋己次期会長

・①会長主題

「苦難の時こそ、我がクラブから明るい光を！」

～どんなときもYMCAと共に歩む～

②会長方針

別資料

③活動計画

・音楽に親しむ例会プログラムを増やす。

(音楽による豊かな地域社会づくり)

・神戸YMCA国際・奉仕センターに協力する。

(留学生支援、国際協力)

・地域奉仕事業を拡充する。

(困難にある人々を覚え、多様な個性を尊重)

・移動例会を数回設定する。

④クラブ役員・委員長(委員は別資料)

会長:山田滋己、副会長:宮内伸浩、大野勉

次期会長:宮内伸浩、直前会長:水野雄二

書記:宮内伸浩・東恭子、

会計:丹羽和子、小田浩、手塚貴子

次期六甲部部長:大野智恵

Yサ・ユース:井上真二、メール:山田滋己

地域奉仕:民谷清、EMC:井内朋博

ファンド:郡美恵子、交流:小田浩

広報:細見俊雄、プログラム:水野雄二

## 神戸 YMCA マンスリーレポートから

1. 5月の大型連休を終え、神戸 YMCA 学院専門学校（ホテル学科・日本語学科）は、遠隔授業を開始しました。学生たちの姿はありませんが、教室からパソコンの画面に向かって授業を行う教員の声が静かな館内に響いていました。緊急事態宣言が解除され、6月1日からは学生たちが登校してきます。小さな画面でしか会えなかった学友たちと顔を合わせて話す喜びを実感するに違いありません。他の神戸 YMCA プログラムも順次再開いたします。詳細は神戸 YMCA のホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/a/kobeymca.org/covid-19/>

2. 今後の神戸 YMCA イベントのお知らせ

①YMCA キャンプ100周年 宮台真司講演会・勉強会  
・宮台真司特別ゼミ 6月20日（土）17時～20時

「体験デザイナーのための教養」

対象：YMCA、YWCA 職員、社会体験をデザインする人等  
アクティブ参加定員（zoom）：50名

YouTube ライブ配信あり

・YMCA キャンプ100年記念 Web セミナー

6月21日（日）10時～13時 ※3時間

「社会という荒野を仲間と生きる一若者編」

対象：高校生、大学生、YMCA、YWCA リーダー（指導者）等

アクティブ参加定員（zoom）：100名

YouTube ライブ配信あり

・YMCA キャンプ100年記念講演会

6月21日（日）14時～16時 ※2時間

「社会という荒野を仲間と生きる一子育て編」

対象：一般公開、保護者

アクティブ参加定員（zoom）：100名

YouTube ライブ配信あり

詳細は神戸 YMCA キャンピングサービスのホームページをご覧ください。

[https://gift.kobeymca-](https://gift.kobeymca-yoshima.jp/blogs/events/ymcacamp100th-miyadai)

[yoshima.jp/blogs/events/ymcacamp100th-miyadai](https://gift.kobeymca-yoshima.jp/blogs/events/ymcacamp100th-miyadai)

## 神戸 YMCA 学生生活支援募金について

新型コロナウイルスの感染拡大により、神戸 YMCA 学院専門学校及び神戸 YMCA 高等学院で学ぶ学生・生徒たちに様々な影響が及んでいます。アルバイトがなくなったことで生活費が得られなかったり、一人暮らしの学生は家賃の支払いが困難になったりしています。5月からの本格的な遠隔授業開始ではどうしても自宅での通信環境が整わない学生は、登校して学校のパソコンを利用して授業に参加をしました。また留学生の母国での感染拡大の影響はさらに学生の日本での生活に負担を強めています。神戸 YMCA では学生・生徒が安心して学びが続けられるよう、「学生生

活支援募金」を設けました。ご理解の上、どうかご支援を賜りたくお願い申し上げます。

問合せ先：公益財団法人神戸 YMCA 078-241-7204

<https://www.kobeymca.org/>

寄附サイトからクレジット決済も可能です

<https://kifu-kobeymca.org/>

## ～石巻と神戸をインターネットでつなぐ～ チャリティーコンサート2020

当初、4月25日（土）に計画していたコンサートでしたが、形を変えて、5月中に演奏収録、6月初旬に公開ということになりました。石巻広域クラブメンバーと予定していた演奏者の熱い思いで、実現にこぎつけました。

どうぞ、ご期待ください。

～石巻と神戸をインターネットでつなぐ～  
**チャリティーコンサート2020の開催報告**

■ 実施要領

(1) 実施する目的

- ① 東日本大震災発生から10年目に想う
- ② 阪神淡路大震災から25年への想い
- ③ 新型コロナウイルスショックを乗り越えよう！

(2) ライブ実施日（録画）、発信日は6月上旬を予定  
<石巻>  
実施：2020年5月21日（木）14時～（録画）  
会場：石巻栄光教会礼拝堂、日和山公園、旧北上川、定禅寺通り、広瀬川など  
<神戸>  
日時：2020年5月下旬  
会場：例会場、神戸市街地、神戸港など

(3) 出演者と曲目紹介（出演中の画面に震災復興状況の画面が流れる）

- ① 乾ひろゆき氏（シンガーソングライター）  
曲目1：「我が心の詩」  
曲目2：「ひとひらの桜のはなびら」  
曲目3：「出逢ったこの場所で」
- ② 金指 崇氏と川上直哉牧師（仙台青葉城クラブ）  
曲目1：金指崇「童謡“春よ来い”の主題による8つの変奏曲」  
曲目2：「よき力にわれ頼まれ」（歌：川上牧師 ピアノ伴奏：金指崇氏）
- ③ 大野 勉氏と神戸ポートワイズメンズクラブ一同  
曲目1：「新生ワイズ起こしの歌」  
曲目2：「笑顔とともに」 2曲とも大野勉氏のオリジナル

(4) プログラムの流れ

- ① 司会 清水弘一（1分）  
↓
- ② 開会あいさつ（1分）  
↓ 石巻広域ワイズメンズクラブ 副会長・国際・交流委員長 青木満里恵（1分）
- ③ 第一部 乾ひろゆき氏の歌とメッセージ 3曲×約5分（12～15分）  
↓ テーマ：「わがふるさと石巻から、支援への感謝を込めて」
- ④ 第二部 金指 崇氏の演奏と川上牧師の歌とメッセージ 2曲（8～10分）  
↓ テーマ：「新型コロナウイルスショックを乗り越えよう！」
- ⑤ 第三部 大野 勉氏と神戸ポートワイズメンズクラブの歌とメッセージ（7～8分）  
↓ テーマ：「阪神淡路大震災から25年とワイズへの思い」
- ⑥ 閉会あいさつ  
↓ 神戸ポートワイズメンズクラブ 会長 水野雄二（1分）

■ 主催・協賛・後援

主催：石巻広域ワイズメンズクラブ・神戸ポートワイズメンズクラブ  
協賛：仙台 YMCA・神戸 YMCA・仙台青葉城ワイズメンズクラブ  
：4ワイズメンズクラブ連絡会議  
後援：ワイズメンズクラブ国際協会 第28回アジア太平洋地域大会記念



## 編集後記

長い自粛生活を経て、日常の生活に戻そうという動きが活発である。大人の世界では急を要することだとは思ふ。

しかし、子供たちの世界で学校再開というのは、急がねばならないが、急いではいけない。子供たちの生活習慣は、なかなか元にもどりにくい。6月に入って2週間の準備期間を設けている。分散登校という形で半分ずつ登校して、少しずつ学校生活に慣らしている。急がず、方法を間違えず、先を見据えて、また第2波も考慮しながら、徐々に元の生活を取り戻していきたいものである。ああ、例会が恋しい！